

川崎・富川（プチョン）市民交流20周年記念シンポジウム

地域社会と東アジアの共生



姜 尚中（カン・サンジュン）さん
東京大学大学院教授／
東京大学現代韓国研究センター



韓 栄恵（ハン・ヨンヘ）さん
ソウル大学校教授／
ソウル大学校日本研究所



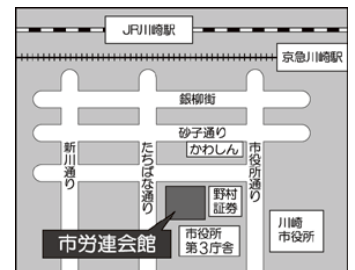
♪ 日 時 2011年9月4日（日） 14時～17時

♪ 会 場 川崎市労連会館 5階 講堂（川崎区東田町5-1 川崎駅東口徒歩5分）

♪ 申込み 住所・氏名・電話番号を記載し往復はがきで（先着150名）

♪ 資料代 1,000円（当日）

韓流ブームもまだなかった1991年、川崎市川崎区の桜本商店街と、韓国・富川市の遠美市場（ウォンミシジャン）の商店街交流が始まりました。その後、さまざまな市民が両市を行き来し、1996年に友好都市協定を締結し、さらに多くの交流が広がりました。そして、3月11日の東日本大震災には、富川市民から激励のメッセージや支援カンパなどが数多く寄せられています。交流20年をふりかえり、市民の手で、地域から新しい日韓、そして東アジアの未来を構想するシンポジウムです！



第1部 富川市民から川崎市へ震災義援金の伝達／川崎と富川の市民の共同宣言（案）発表

第2部 記念シンポジウム

あいさつ 尹 炳國（ユン・ビョングク）富川市議会議会運営委員長ほか

基調講演「地域が開く日韓の未来」 姜 尚中：東京大学大学院情報学環 教授

パネリスト 李 時載：カトリック大学校 教授／富川・川崎市民交流会共同代表

飯塚正良：川崎市議会議員／富川市名誉市民

韓 栄恵：ソウル大学校国際大学院 教授／日本研究所長

主催・問合せ 川崎・富川市民交流会／富川・川崎市民交流会

210-0005 川崎市川崎区東田町 6-2 ミヤダイビル 2 階

川崎地方自治研究センター・気付東アジアシンポジウム係

共催：東京大学現代韓国研究センター、ソウル大学校日本研究所